川でむすぶ

＜代表挨拶＞

＜事業報告＞

①伊南川サマーキャンプ　②全国河川愛護団体交流会 IN 島根
③第５回夏井川かわくだり　④２６時間通日水質調査【好間川編】
⑤新川秋の植栽　⑥川前秋の清掃
⑦福島銀行助成事業成果報告会　⑧水環境シンポジウム2018

＜行事案内＞

定例清掃、川ばた会議

＜世話人会から＞

新年明けましておめでとうございます。昨年中は大変お世話になりまして有難うございました。本年も宜しくお願いいたします。

今年は平成から元号が変わる年であり、当会においても設立２０周年を迎える節目の年でもあります。温暖化等により気象条件が変わりつつありますが、これまで以上に皆さんとともに夏井川の魅力を探求・発信する諸活動を実践していきましょう。

＜代表挨拶＞　ほどほどの猪突猛進で

代表世話人　橋本 孝一

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。旧年の言葉は「災」でした。確かに、活発な地震活動・異常豪雨に伴う自然災害等、天と地の異変の多い年でした。人間社会の動きを見ても、あらゆるものが情報網を通じて、世界と繋がっていく社会（「IoT 社会」）の真っ只中にいるのを感じます。現在は、何かあらゆるものが大変な勢いで変化しつつある時代なのですね。でも、そんな中であればこそ「変わらぬものもあるはずだ」と抵抗したくなります。どのような時代になっても、人間の感性を豊かにすることによって、自らの直観力を研ぎ澄ますことができます。豊かな感性は、激動の中で、何が自分にとって大切なのか判断する大切な武器の一つになるのではないかと思います。

そのような意味で、子どもの頃から比較的身近にある生の自然としての「『川』～様々な生き物

が息づき多様性に富む自然」は、私たちの感性を高めてくれる絶好の場です。子どもの頃の生の自然体験は一生の財産になります。私たちの会では、人数の関係もあり、ごく限られた場しか設定できていませんが、川での自然体験活動の支援をしてきています。川でのイベントの持ち方としては、大きく２つに大別できます。一つは、学校での学習支援です。学校の場合は、土曜学習等の他は通常、週日での支援となります。川に入っての体験活動の場合、安全性確保の点からも概ね参加児童 4～5 人に対して一人の支援者が必要です。週日の学習支援は、どうしてもリタイア組が中心となり対応することになります。年々支援者は老齢化する一方、支援者の数は必ずしも増えていません。夏井川水系には小学校は、いわき市 27 校の他、小野町 4 校、田村市滝根地区 1 校を合わせ 32 校（平成 30 年度現在）ありますが、これまで、当会で係った学校は、5 校にすぎません。

もう一つは、不特定の子どもたちを対象に、土・日曜日等に開催している水辺の教室や川下り等のイベントです。こちらは、親子での参加が基本になります。当会の若い世代の支援も期待できますので、安全管理は比較的楽です。如何に多くの参加者を確保するかが課題になる場合が多くなります。

当会も次年度で、設立 20 周年になります。所期の目標に向かって、猛進していきたいものと思います。会員の皆さん、是非、支援の輪に加わっていただき、「子どもの笑顔が見える夏井川」づくりに向かって共に頑張っていきましょう。

＜事業報告＞　①伊南川サマーキャンプ

田中　博文

平成３０年８月１８日（土）～翌１９日（日）の２日間、伊南川サマーキャンプを行ないました。いわきから小野町・西郷村で合流し、今年６月の県内交流会で目星をつけていた南会津町（旧南郷村）伊南川河原に陣取りました。

今回ＰＲ不足のためほぼ仲間内の参加となりましたが、雄大な自然と好天の中、人数分のテントや簡易トイレなど準備万端のうえ、色々な水遊び、自炊、テント宿泊を楽しみました。８月とはいえ日中３１℃、朝方１１℃と気温差が大きく、奥会津を侮るなと痛感。

今回の反省を活かして次回（あるのか？）に望みたいと思います。皆さまお疲れさまでした。中々出来ない体験ですので、次回（あるのか？）は是非参加して下さい。

陣営状況

カヌー①

カヌー②

アクアボール

アクアチューブ

夕焼けからＢＢＱ

夜まったりと

朝日

朝食（パン・野菜炒め）

笹舟競争①

笹舟競争②

ここでもパックテスト

カゲロウ・ヤゴ・小魚

昼食（ソーメン）

スイカ割り

＜事業報告＞　②全国河川愛護団体交流会IN島根

田中　博文

平成３０年９月８日（土）～１０日（月）全国河川愛護団体交流会ＩＮ島根に参加しました。今年で１８回になります。開催地は島根県益田市で、福島県からは当会や中通り・会津から計９名でした。

１日目は益田市交流会会場で、國井先生、新松先生による基調講演、６団体の活動発表（当会も発表）があり、夕方からは同会場で懇親会となり、多くの方と交流できました。懇親会ではいつもの次回開催地発表があり、愛知県の内諾（一応最終決定ではない）を得ました。また石見神楽が披露され、古来からの伝統芸能に感動しました。

２日目からは山口県のＹさんの案内により、中四国地方豪雨災害の一つで広島県川越地区

の江の川（ごうのかわ）を訪問し、地元の方々に状況を説明してもらいました。地権者反対による堤防未整備箇所から水が回り込み、背後地集落が冠水したということです。次に広島神楽を観賞し、石見とは少し違う演出でした。夕方近くに同じく豪雨災の真備町を見て回り、道路やガレキは殆どなくきれいなので一見判らなかったのですが、良く見ると町全体家屋の一階が全て空洞で、全くひと気が無い事に気づきました。ＴＶで放映された病院や町並みの廃墟の様子には愕然としました。

３日目は３大庭園の一つ岡山後楽園、黒田官兵衛が水攻めを行なった備中高松城、難攻不落の山城として有名な備中松山城を見学しました。備中松山城は登山道を２０分かけて登るのですが、若手（５０歳代）の私でもかなりきつかったです。その甲斐あって、素晴らしい眺めでした。

今回初めて島根県さんを会場とさせて頂いたことは、とても良かったです。皆さま大変お世話になりました。また来年元気でお会いしましょう！！！

初日の交流会

当会の発表

交流会後全員で

懇親会

懇親会中の石見神楽

江の川被災対策室の資料

岡山県真備町

備中高松城跡

備中松山城

＜事業報告＞　③第5回夏井川かわくだり

田中 博文

平成３０年９月１６日（日）、いわき市平鎌田にて第５回夏井川かわくだりを行ないました。

９月に入り急に肌寒くなり雨も続いて心配されましたが、当会の晴れ神様が参上したので、何とか薄曇りで乗り切りました。

今年は例年になく一般参加の方が多く、開会挨拶後から早速会場で川流れの体験、カヌー・ボートの練習を小一時間程度行ないましたが、前日の雨による水位上昇もなく大人の膝下くらいと水位が低かったため、「公益信託福島銀行ふるさと自然環境基金」の活動助成金で購入した船外機が河床にあたり川くだり本番には使用できず、会場の一部の深みでデモンストレーションでのみ使用し、同乗した子供たちは「楽だね～～」と喜んでいました。その後、船外機を外して不安要素のない新品ボートとして川くだり１．８ｋｍに使用しました。

また、水生生物調査や３個の石重さ順番当て、３検体のきき水当て、笹舟競争、アクアボールを行ないました。最初はあまり水に入らなかった子供たちでしたが、午後からは進んで川に入り、こちらが休憩する暇が無いほど楽しんでいました。　また来年もご参加下さい！！！

救助体験

川流れ体験

船外機ボート

カヌー練習

川下り途中(川面から)

カニ・ヤゴ

シラスウナギ

笹舟つくり

笹舟競争

アクアボール

＜事業報告＞　④26時間通日水質調査【好間川編】

阿部 孝男

26 時間通日水質調査は今年で 11 年目です。第 1 回目が好間川ということもあって、一巡した 10 回目の昨年は好間川での調査を行いました。しかし、定点の選定が良くなかったのか、調査日程が良くなかったのか、水質の変化があまり見られない（ある意味いいことなのかもしれませんが）結果に終わり、我々スタッフは“こんなはずはない！”ということで再チャレンジ、今年も好間川での 26 時間水質調査を行いました。

毎時間測定のメイン定点を昨年の樋口橋から好間公民館裏にし、他、蛇岸淵、松坂吊り橋、樋口橋、愛宕橋を補点として、好間公民館をお借りして昼夜の調査を行いました。

測定項目は、「水温」「水位」「ＣＯＤパックテスト」「アンモニア濃度パックテスト」「導電率」「透視度」「匂い」を現地で行い、その後福島高専さんの協力を頂き「公定法ＣＯＤ」「ＢＯＤ」を測定しました。

結果は以下のとおりで、やはり極端な変化は見られず・・でしたが、大きな変化がないながらも公定法ＣＯＤ結果では 0.3～1.3 とかなり良好であることがわかりました。

（パックテストでは 1.0～3.0 ぐらいでした）

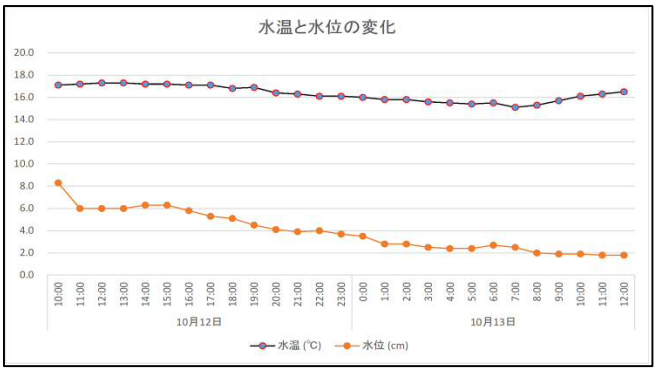
いつもながらですが、昼夜を通して実施するためスタッフの張り付けに一苦労で、ワタクシ 60 歳代はまだ若手なので徹夜組となりますが、いつもの元気な女性二人が眠気を吹き飛ばしてくれますので何とか持ちこたえている感じです。でも朝方はやはり眠い・・

採水の様子（昼・夜）

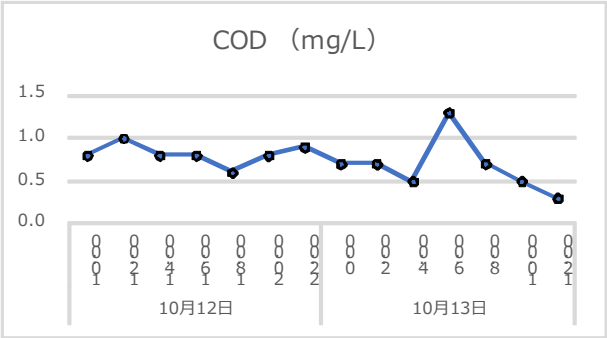
水質分析の様子

調査結果は記録として残すばかりではなく、活動も含め地域の人たちに知ってもらう機会を是非作ることができればと思います。

来年の調査個所は未定ですが、貴重な体験ですので会員ばかりでなく一般の方々の参加もあれば川環境への関りもより身近なものになるのではないでしょうか。参加されたスタッフのみなさんお疲れさまでした。ご協力いただいた好間公民館さん、福島高専さんありがとうございました。



水温と水質の変化



COD（公定法）の変化

＜事業報告＞　⑤新川秋の植栽に参加して

田中 博文

平成３０年１１月１１日（日）午前９時～２時間ほど、ふるさといわきの新川をきれいにする会の主催による秋の植栽に参加しました（当会から２名）。当会で清掃している新川ひょうたん島（いわき芸術文化交流館アリオス裏）の左岸法面で、階段花壇を主として毎年５月と１１月に実施しています。

最高の好天のなか、参加者８０名と当会とは比べ物にならない多人数で、班ごとに場所を分けて植栽と草片付けを分担して２時間ほど作業し、前週に定例清掃でひょうたん島を清掃していた（島内は１／３土砂残り）ため、左岸は全体的にきれいになりました。

その後、場所を移動して１２時からＢＢＱ打上げ会にも参加させて頂き、とても楽しい一日でした。関係者の皆様、有難うございました。

当会では定例清掃として河口親水公園を主として、ひょうたん島、防災センターを毎月少しずつ清掃していますが、参加者が４～５人と少なく、且つ草繁茂・堆砂のスピードに追いつかず、毎回途中終了です。運動不足の方、道具の準備は不要ですので是非ご参加下さい。

清掃状況

清掃後

打ち上げＢＢＱ

＜事業報告＞　⑥川前秋の清掃に参加して

田中 博文

平成３０年１１月２５日（日）夏井川流域の会の中流域団体「夏井川をきれいにしてみま専科」主催の清掃活動に参加しました（当会から２名）。毎年恒例行事で、春（３月末）と秋（１１月末）に実施しています。

軽トラックに２人組で各方に散らばり２時間ほど探します。メイン道路はかなり少なかったのですが、今捨てたような真新しいカンやペットボトルを見るとガッカリです。また、タバコの吸い殻は結構ありました。西方面からの戻りは普段通らないという細い道を抜けていきましたが、相当古い缶が多数あり、私の班だけでゴミ袋４つ半となりました。

清掃後は皆で美味しい昼食を御馳走になりました。準備大変だったと思います。有難うございました。

当会でも川前の広い範囲で実施している清掃に合わせて、日程をずらすとかして流域全体での清掃を出来ないか検討したいと思います。

開会式

２人組で拾い中

美味しい昼食

２時間で集まったゴミ

＜事業報告＞　⑦福島銀行助成事業成果報告会に参加して

橋本 孝一

当会では、平成 30 年度の「川下り」事業（夏井川流域の会との共催事業）は、「福島銀行ふるさと自然環境基金」の助成を頂いて実施しました。その成果報告会が、平成 30 年 11 月 29 日（木）11 時～、福島銀行本店（福島市）で開催されました。

成果報告に先立ち、次年度助成金を受ける２団体に対する贈呈式が行われ、続いて、今年度受賞した当会含む４団体から事業の実施報告がなされました。当会では、橋本が代表して「川下り」の実施状況の他、一斉水質調査や上下流交流事業等も含め、パワーポイントで説明しました。その後、昼食会では、主催者や他団体の方々と懇談する機会に恵まれました。より多くの方々に私たちの活動内容を理解して頂くためにも今後とも可能な限り助成申請する機会を多くできればとの感を抱いて帰路につきました。

＜事業報告＞　⑧水環境シンポジウム2018に参加して

橋本 孝一

平成３０年１２月１０日（月）東京千代田区丸の内で「水循環シンポジウム２０１８」に参加・発表を行ないました。内閣官房水循環政策本部より夏井川流域の会、福島県水環境活動団体交流会として招待されたもので、全８団体が事例発表・ポスター発表を行ない、シンポ後の懇親会では交流を深めることができました。

このシンポジウムは、全国的に「水循環」についての取組みを推進しているキャンペーンの一つで、福島県での取組みに事例としての意味もあり、福島県の方々も参加していました。

＜行事案内＞　定例清掃

毎月第一土曜日に実施している定例清掃ですが、夏井川河口親水公園は１２月でシーズン終了としました。冬期で草が伸びないので、５月から再開する予定です。

つきましては、１～３月の予定を次のとおりとします。

【定例清掃予定】いずれも午前７時半～２時間程度
○１／１２（土）夏井川防災センター周辺
○２／２（土）　夏井川防災センター周辺
○３／２（土）　新川アリオス裏

毎回参加人数が少なく、平均年齢７０歳オーバーで頑張っていますが途中終了です。道具は当会で準備しますので、なるべく多くの方の参加を待っています。

＜行事案内＞　川ばた会議

夏井川流域の会として川ばた会議を１～３月の間に予定しています。場所は小野町となる予定ですが、日時等詳細が決まりましたらホームページ等でご案内します。

内容：外部講師講演会、意見交換会、懇親会

＜世話人会から＞

◆夏井川防災センターの利活用について

当会としては、今年度の総会を夏井川防災センターで開催させていただきました。防災センターは、今般の集中豪雨被害等に鑑みると、治水上重要な拠点になりうる施設だと考えています。同建物内の有効活用の他、施設に隣接する夏井川本川や支川新田川を含めると、様々な防災訓練、水辺の教室等に活用されることが期待できそうです。そのような活用構想を踏まえ、施設管理者でもあるいわき市や河川管理者のいわき建設事務所等と連携しつつ、有効活用活用を進められるよう働きかけていこうと考えております。

◆もう直ぐ、当会も 20 周年を迎えます。記念事業アイデイアをお寄せ下さい

当会は 2000 年（平成 12 年）9 月に発足し、お陰様で 2019 年 9 月から 20 年目に入ります。世話人会では、20 周年記念にふさわしい事業を検討し始めました。現時点で提案されている内容としては、①これまでの事業内容を事業毎にまとめ報告書とすること。②記念講演会の開催。③会独自の「水生生物カード」をつくる等々、様々なアイデイアが出されています。是非会員の皆様からアイデイアや夏井川に係わる風俗や歴史の変遷、言い伝え、古い写真、皆さんの思い・意見などお寄せ下さい。

～～～　会員の皆様からの御寄稿をお待ちしております。～～～

【会報　第４８号】 2019.01.01

発　行　：　夏井川流域住民による川づくり連絡会（略称:夏井川流域ＮＷ）
代表世話人：橋本孝一　　khashi0823@hotmail.co.jp
事務局　：　〒972-8311　いわき市常磐水野谷町亀ノ尾171地質内
田中博文　　tanaka@tisitu.co.jp
Tel)0246-88-8810　Fax)0246-88-8907
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ：http://blog.natsuigawa-karyu.net/　　夏井川流域で検索